

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察防除情報第5号

トマトの黄化葉巻病の防除対策について

促成トマトにおいて、黄化葉巻病の発生が多い傾向にあります。本病はタバココナジラミによって媒介されるので、ウイルス保毒虫を『入れない、増やさない、出さない』ことが大切です。

トマト圃場での伝染環を断つため、栽培終了時のハウス密閉による蒸しこみなどを実施し、タバココナジラミのハウス外への飛散を防ぎましょう。

記

1. 発生状況等

- (1) 5月前期の巡回調査（12筆）の結果、黄化葉巻病の発生圃場率は41.7%（平年18.8%）発生株率は6.5%（平年0.5%）と多い発生であった（図1，2）。
- (2) 5月前期の巡回調査（12筆）の結果、コナジラミ類の発生圃場率は75.0%（過去8か年平均41.7%）、寄生葉率は7.3%（過去8か年平均3.7%）と多い発生であった（図3，4）。

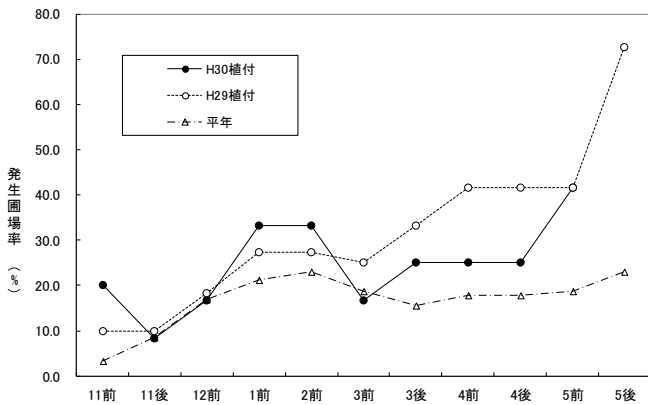


図1 トマト黄化葉巻病発生圃場率

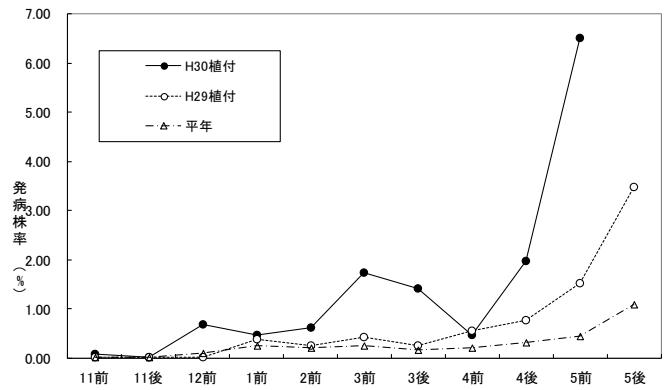


図2 トマト黄化葉巻病発病株率

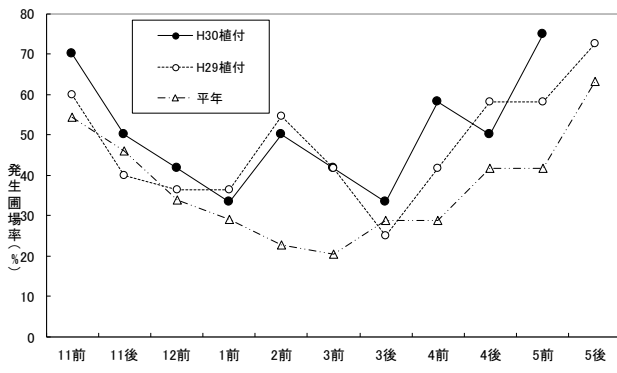


図3 トマトコナジラミ類発生圃場率

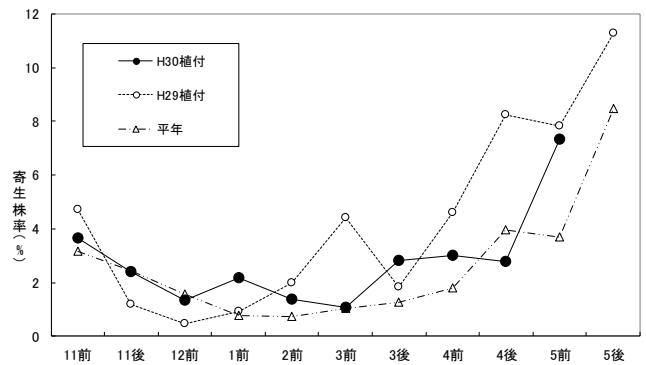


図4 トマトコナジラミ類寄生株率

2. 防除対策

(1) 圃場内外の寄主植物の除去

本虫の生息場所となる施設内外の雑草等を除去し、周辺環境における密度低減を図る。

(2) 栽培終了後の蒸し込みの実施

ア 蒸し込む前に、トマトは抜根または根元から切断する。

イ できるだけ隙間の無いよう、施設を密閉する。

ウ 日中の室温50℃以上を1週間以上維持する。

(3) タバココナジラミ蔓延防止（古株枯死）

施設を密閉のうえ、前作終了後からは種又は定植の15日前までに、キルパー原液40～60

リットル/10 a を50倍希釈を目安に水で希釈し、かん水チューブ等を利用してマルチ内の土壌表面に散布または灌水する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

